



日本弁理士会による 約60人の聴衆を釘付け  
特許エンターテイメン にした。  
トセミナーが4日、前 セミナーは、おにぎ  
橋市亀里町の群馬産業 りのりがしけらない  
技術センターで行われ ようにする独自構造の  
た。特許への理解を深 フィルムを開発した  
めでもらおうと企画し 「群馬さん」(中村希望  
理士)を付け、言い争  
うとともに、要所ごと  
に羽鳥弁理士が説明を  
入れる形式で実施。  
県内唯一の女性弁理  
士である中村弁理士ふ  
んする「群馬さん」は

## 県内弁理士らが執演

たもので、羽鳥亘弁理 弁理士)と類似する 発明好きの主婦という  
士ら県内の弁理士4人 フィルムを商品化した 設定。一方、久保田室  
が寸劇形式で実施。笑 「上州さん」(前橋商工 長ふんする「上州さん」  
いも織り交ぜた執演は 会議所・久保田純一経 は企業経営者で、なお  
堂支援室長)がお互い かつヒール役という設  
笑いを織り交ぜた演 顧問弁理士(桜井得弘 定だ。  
劇が聴衆を魅了した 弁理士、松下浩二郎弁 2人が特許権利を争

## 特許エンターテイメントセミナー

つていく過程を追いつ  
つ、要所では、どちら  
がどう正しいかを羽鳥  
弁理士が解説。  
2人が言い争う場面  
では双方が声を荒げる  
など、迫真の演技が繰  
り広げられたほか「特  
許侵害はしんがいです  
な」という上州さんの  
ダジャレセリフに反応  
が薄いと見るや羽鳥弁  
理士がさかさず聴衆に  
「ツッコミ」を入れる  
など出演者のコンビネ  
ーションも抜群。参加  
者は終始楽しみながら  
特許を学んだ。